

## ボランティアの先生を紹介します

VOL  
21

下山 元子先生

先生は熊本県出身で高校の先生の資格もある方です。本校では主に中学生の国語の指導を担当しております。地域では主任児童委員を兼ねている先生は、周到的な教材研究に裏付けされた丁寧な指導と子どもを多角的に見る指導で子ども達からの信頼もあついものがあります。

青葉区しらとり台在住。夫は本校理事長の和正氏。

ボランティアスクール  
「横浜みどりの学校ひまわり」



# ふれあい

学校だより 2024年1月号 No.63

こんな学校があつていいかも  
(既存の教育にとられない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、11年前に開設されました。

## ちょっぴりばっちい教育の実践

---- 教育の原点の回顧 2 ----

校長 渡辺 正彦

私が小児科医の毛利子来先生と出会ったのは今から60年以上も前です。たしか代々木にある総合病院の医師であった先生が原宿の私の自宅近くに開業したのがきっかけでした。以来先生には家族を含めて大変にお世話になりました。

私が28才で教師になった事を先生に告げると先生は私に「渡辺君、僕と同じ道(子どもに関わる)に入ったのだね」と笑顔で語って下さいました。そして私に「渡辺君、ちょっぴりばっちい教育をして下さい」と言われました。

小さな診察室での毛利先生の言葉がまさか私の教育の原点になるなどは新米教師の私は想像だにしませんでした。

その後、コロナの流行に伴う「消毒教育!」優先の流れの中にあつて、私の中での毛利先生の「ちょっぴりばっちい教育」は、一時的に封印はされたものの胸裏から消え去ることはありませんでした。

私の中での毛利先生のあの「ちょっぴりばっちい教育」は、あめ玉を落とした時にいち早く拾って息を吹き掛けて口にするあの「3秒ルール」から始まり「過保護」「過干渉」「豊かさの弊害」「大人の敷いたレールの上を辿らせる教育への疑問」などとして私の教育実践の根底にめんめんと流れをなしておりました。

アレルギーの治療方法の一つに「アレルギー減感作療法」があります。これは、今まで食事の除去食に代表されるように、アレルギーの原因となる物を体内に入れないように食事してきたことから一転して、あえて微量のアレルゲンを体内に入れて抗体をつくる治療方です。私はこの治療方法を教育手法に取り入れることにしました。横浜みどりの学校ひまわりで実践している「減感作教育」です。多人数が苦手な子どもや匂いに過敏な子どもに敢えて段階的にその環境を与えて、なじませる教育手法です。ASD(自閉症スペクトラム)によくみられる冗談が理解できない子どもに敢えて冗談を言ってから、冗談であることを知らせる方法などを教育の場で試行しております。「無菌教育から有菌教育」への変換理由は、小学校校長時代に個性的な子どもに理解のある幼稚園(個性的な子どもに万全な対応=無菌教育)から入って来た子どもは、幼稚園時代はなんの問題もなく過ごしていながら小学校に入ると学校不適應になる事例をたびたび目にしてきたからです。今、無菌教育から将来を見据えた「ちょっぴり有菌教育」が求められます。毛利先生の「ちょっぴりばっちい教育提言」は生涯にわたり私の教育の原点になりました。

## ひまわりの動物を紹介します

名前: レン  
種類: ニワトリ(名古屋コーチン)  
大きさ: 約60cm(ひまわりのニワトリの中で最大)  
隣の畑からひまわり農場へやってきた。  
あまり人慣れしていないので人に慣れる練習中。  
散歩のために広場に出すと豪快に穴を掘って楽しそうに砂浴びする姿が微笑ましい。



## ● 新学習室完成

「ひまわり学園」「プレスクール」を希望する子どもが増えてきました。そこでゲーム部屋をリフォームして、勉強ができるようにしました。



## ● OBの先生来校

以前本校でボランティアをしていた鈴木海斗先生(現新潟県の中学教師)が正月休みを利用して本校を訪問して下さいました。思わぬ訪問に子ども達は大喜びで、鈴木先生の『特別授業』を受けました。

## ひまわりの現況

開校日: 月・水・金・土 / 9時~14時30分  
生徒数: (約)60名 / 支援者数: (約)20名  
時程: 9時開門(学習)、12時10分昼食(食後レク)、12時55分(校長タイム)、1時20分(フィールドタイム)、2時半(帰りの会)(下校)  
通信制: ゲームから教科学習までひまわり目線の指導

## ボランティア募集

内容: 子どもの見守り、学校事務など  
条件: 週一回以上勤務可能な方を特に求めています。

\*ご質問・見学・ボランティアご希望の方は、渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせください。最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/> と Facebook にてアップデートしています。





事前準備で薪を集めているところ



長い木の先につけた団子を火に近づけて焼いています。

ひまわりのオレンジのユニホームがよく映えています

## どんど焼き開催

1月13日青空の下、ひまわり農場隣接の農地でさつきが丘小学校ボランティアの会に所属する「郷土史の会」主催、ボランティアスクールひまわり等の後援で「下台のどんど焼き」が盛大に開催されました。

ひまわりは前日準備から積極的に関わり、当日は子ども達の協力も得て、フリーマーケット、焼きそば、飲み物、クレーンゲームなどの出店をしました。参加者ともども1年間の無病息災を祈りました。



## こんなことしました！ (活動報告)

### スタッフジャンパー作りしました！



ひまわりイベントに使用できるように、スタッフジャンパーを作りました。「どんど焼き」に着用してひまわりとアピールしました。

### トピックス

#### リクガメのチャップルの新居完成！ 引越しました。



営繕担当ボランティアのMさんの尽力で、チャップルの立派な新居が完成しました。広い庭付き暖房完備です。チャップルを一輪車に乗せて引越しをしました。今まで以上に居心地の良い環境になりチャップルも嬉しそうです。



#### クリスマス会

クリスマス会を開催しました。会場の飾り付けや調理も子ども達が手伝い、特別メニューをいただいたり、商品が当たるイベントも開催されました。続いて大人の忘年会も開催されて親睦を深めました。

#### 保護者個別面談

11月から個別に保護者面談を開催しました。校長先生、心理士さん、他先生等へ、保護者から我が子の現状報告や悩み事の共有、今後の支援についてを話し合いました。

#### 地元議員さんとの意見交換

1月13日の「どんど焼き」に地元の議員さんが来ました。忙しい中、ひまわり保護者と意見交換をしてくださいました。これからは、ひまわりのような学校と急遽異なる場所への支援が今以上に必要になってくること、今の学校の教育の問題点など有意義な意見交換ができました。